

経営方針

1. グループ経営の基本方針

当社グループは、当社の社是である「おいしさと健康を愛する魅力あるスタミナ食品をもって世界に貢献する。我々は真のやりがいを感じ、企業の成長・発展とともに生活・文化の向上を図る。」を基本とし、世界の人々が幸せになるよう食肉事業を主領域に定め、個々の存在価値を高め世界に貢献できる企業集団を目指し内外での事業展開を行っております。

「おいしさと健康を愛する魅力あるスタミナ食品」があるべき製品、商品の姿ととらえ、品質、安全性、機能性、栄養価、価格などお客様の要望に応えることのできる魅力ある製品・商品とサービスの創造と提供を基本方針としております。

今後とも、グローバルな視点から資源の有効活用に努めてまいります。

2. 中長期的な経営戦略とグループ体制の強化のための課題

当社グループは、食肉事業を主領域とするなかで「バラエティーミート世界」「焼肉日本一」という特化戦略を掲げ、そのためのグループによる業容の拡大と活動領域を広げるべく企業体質の強化に取り組んでおります。

情報化社会及びグローバル化の進む経営環境の変化に適応する業務環境を整えるために、独自の事務基準スタミナスタンダード及びグループ共有のトータルグローバルコンピューターシステムの構築、国際品質規格の取得や国際会計基準の前倒し適用などのシステム対応を行ってまいります。

また、成長の期待できる焼肉市場はじめ食肉需要の動向に機敏に対応し、事業チャンスを取り込んでいくために、グループ機能を高める執行役員制度や分社化制度などの経営管理機構の革新及び、事業基盤の拡充と業容の伸展を目指して新規事業や M&A にも取り組んでまいり所存であります。

更に、お客様や株主のみなさまに信頼され支持される、21 世紀の価値ある企業集団づくりに向けて、当社の社会的存在意義（コーポレートアイデンティティ）を革新することとし、企業ブランドの再構築とブランド価値の増大を目指した新社名、新商標の導入を実施する所存であります。

経営成績

1. 当期の概況

当期のわが国の経済は、政府の財政・景気対策等により徐々に明るさが見えてきました。しかしながら、国民総生産の年間0.6%の成長期待に対し四半期ごとの実績値の変動が大きいことなどから、なお予断を許さない状態であります。

当業界を取り巻く環境も厳しく、百貨店、スーパー等一般小売部門の売上は減少、停滞が続いております。一方、個人消費をみますと、消費の特徴としましては、価格の安いものでかつ消費者がその価値を認めたものが求められるというより厳しい選択が進む傾向が続きました。

このような環境下、「強い会社」を目指す当社は消費者のニーズに応えるべく、安価でおいしくて健康に役立つ焼肉商材の新製品、オリジナル商品の開発に努め「バラエティーミート世界一」「焼肉日本一」を目指してまいりました。

営業面では、食肉需要の増大する外食及び中食市場に焦点を当て、成長著しい焼肉レストランチェーンや中食向け食品加工業など対象業種の新規先開拓に努めました。

以上の結果、好調な焼肉需要と相まって当期の売上高は540億4千3百万円と前年同期比11.6%の増加となりました。そして利益面におきましても、経常利益は28億8千万円と前年同期比48.2%の増加となり、当期純利益は12億5千万円と前年同期比76.5%の増加となりました。

2. 次期の見通し

今後の見通しにつきましては、政府の景気浮揚対策の効果が、経済面に徐々に現れ少しずつ明るさを取り戻すものと考えられますが、企業は、グローバル化の波とリストラ、ワークシェアリング等厳しい環境下にあります。また、消費者においても、年金制度の変更、介護保険費負担等、将来の生活防衛に対する不安はなお続くものと考えられます。

当業界におきましては、消費者の目は一段と厳しくなり、製品、商品の販売競争が一層激しさを増すものと予想されますが、安くて、おいしく、簡便性に富み、価値のある焼肉の需要は今後とも期待できるものであります。

当社グループは、消費者ニーズにあった、製品開発に努め、また、当社のオリジナル商品の開発とマーケット開発、シェアアップに努め、更なる

焼肉文化の普及に努めてまいります。

以上により、平成 13 年 2 月期の売上高は、570 億円（前期比 5.5%増）、経常利益は 31 億円（前期比 7.6%増）、当期純利益は 16 億円（前期比 27.9%増）を見込んでおります。なお、平成 13 年 2 月期の設備投資総額は、8 億 7 千万円を見込んでおります。

以上